教育学科から一般企業へ

就職にいきる教育学科の学び

学校インターンシップ

・職場における礼儀や規律の理解
・観察と傾聴を通した状況の把握
・主体的な判断と行動

教育実習

・社会人として働く
・分かりやすく説明し、働きかける
・授業計画を立てて自ら実行する
・子どもの反応に即座に対応し、柔軟に組み替える

教職関係の授業

・協働して行う教材分析
・模擬授業を相互に批評
・課題を発見し、対応する
・論理的な文章を書く

社会人基礎力（企業で求められる力）

1. 指示待ちにならず、一人称でものごとをとらえ、自ら行動できる力

・主体性
・働きかけ力
・実行力

2. 自ら課題提起し、解決のためのシナリオを描く、自律的な思考力

・課題発見力
・計画力
・創造力

3. 多様な人々との繋がりや協働を生み出す力

・発信力
・傾聴力
・柔軟性
・状況把握力
・規律性
・ストレスコントロール力

教育学科での学びは職場でどう役に立っていますか？

人材育成

個人の資質を見極め、ただ伝えるだけでなく会話の中からお互いの理解度を確かめ合っていく関わり方は、大学で学んだ教育の在り方がダイレクトに生かされていると感じている。

プレゼン力

教育実習で人前に立って話したことで、仕事で大人数の前に立って話す時に緊張せず、大きな声で話せる。

チームで働く力

教職免許を取得する過程で培ったチームワーク力や自立した存在として何事も挑戦する力は、自信となって自身の考え方や行動に活きていると考えます。

コミュニケーション力

周囲とコミュニケーションを取りながら、自発的に行動し（急な変更への迅速な対応等）、様々な条件を踏まえながら企画する機会が多く、教職免許取得のための授業が一般企業でも生きていると感じる。

人間や社会の理解

人に関わる上で、相手の人生にはどのような背景を持っているのかを考えて接することの重要さ、自分が社会の中で生きていることをどう捉えるかといったことを意識するようになった。

教育と貧困に相関関係があることなど、授業で学ぶことにより知見が広がり、周囲の環境や物事に対してより関心を持ち、意見を持てるようになったと思います。

説明力・伝達力

人に対しての物の説明の仕方、関わり方、見方を学ぶことができたと思います。

新入社員研修の担当をした時に、人に伝える能力・上手くまとめて前で話す能力が活かせた。

対応力

教育実習の経験から、様々な場面において細かくスケジュールを立てたり、多様な反応やアクシデント等を想定したりできるようになった。

企業で働く先輩たちの言葉

（教育学科卒業生アンケートより）